

Society for Serviceology

サービス学会のご案内

サービスは経済の主要活動であるとともに、生活の質の向上、持続可能な社会を実現するための重要な要素です。従来、サービスの研究は、個別の学問分野で発展してきましたが、社会においてより良いサービスを実現するためには、社会科学、人間科学、理工学の協調が必要であるとともに、産業界と学术界との強い連携が不可欠です。さらに、グローバル化する社会においては、各国の社会、文化的背景を考慮しながら、製造物とサービスを統合的に捉える視点が重要になってきています。このような背景から、サービス学会は、2012年10月1日に発起人196名の賛同を得て設立されました。

サービス科学・サービス工学の研究者、サービス業の革新を目指す経営者、そして社会的な問題解決を探る行動者が一堂に会して議論できる場がサービス学会です。この分野でご活躍の皆様に、ぜひともご入会いただきますようご案内申し上げます。



www.serviceology.org

サービス学会の活動

Society for Serviceology

学会誌と英文誌の発行

学会誌「サービソロジー」

年間4巻刊行。サービソロジーでは、論文と記事を掲載しています。論文では原著論文に加え、サービス現場における優れた実践から得られる新たな知見を社会に発信する場として「実践論文」というカテゴリを設けています。記事では、最新のサービス研究や事例をわかりやすく紹介する特集や、書籍紹介、会議報告、SIG報告などを掲載しています。会員には、印刷物（年間4冊）が無料で配布されます。

英文誌「Journal of Serviceology」

Journal of Serviceologyでは、学术界にとってもだけでなく、社会・経済にとっても価値の高い原著論文を掲載します。また、会員は、全論文の電子版に無料でアクセスできます。

※2015年12月現在、刊行に向けて論文募集中



国内大会と国際会議の開催

国内大会

- 年1回開催（2日間、発表件数約100件、参加者約180人）
- 特別講演、パネル、口頭発表、ポスター発表、Best Presentation Awardの表彰

過去の特別講演 ※敬称略

- 第1回国内大会（京都、2013年4月開催）
村上輝康「いかにサービス学は日本産業に貢献するか」／若林直樹「サービス経営学における顧客経験マネジメントの新たな組織的課題」／茅田泰三「コマツは新興国、特に中国においてサービス展開を如何に進化させてきたか」
- 第2回国内大会（函館、2014年4月開催）
野村文吾「お客さま密着！で地域に貢献する十勝バスの取組み～40年ぶりの利用者増加の実例～」／大西雅之「宿づくり・まちづくり～新たな時代への挑戦～」
- 第3回国内大会（金沢、2015年4月開催）
小田禎彦「加賀屋の流儀～おもてなしの心～」／小島啓二「人々の未来を拓く社会イノベーション～お客様起点のグローバル研究開発～」



過去の受賞講演

- 第1回国内大会（京都、2013年4月開催）
顧客の参加行動と満足をめぐる構造探索と価値共創支援ベジアンネットワークによる検討（口頭発表，一般部門，大学）／設計知識管理による製品サービスシステム設計支援手法（口頭発表，学生部門，大学）／価値共創パターンからの企業分類による文化的特性の明示（ポスター発表，学生部門，大学）／脳ドック検診における生活者視点でのサービス価値構成の分析（ポスター発表，実務部門，大学）
- 第2回国内大会（函館、2014年4月開催）
観光クチコミデータを用いた類似観光地の発見と満足形成要素の分析（口頭発表，一般部門，企業）／ICTベンダーにおけるお客様との価値共創の実践（ポスター発表，一般部門，企業）／高級消費財購買意思決定における Image in Use の脳活動分析（口頭発表，学生部門，大学）／ファストフードにおけるメニュー表を使った注文～エスノメソッドロジー分析（口頭発表，学生部門，大学）

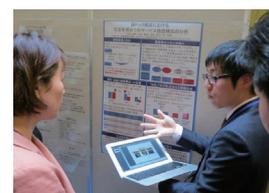
国際会議

「International Conference on Serviceology (ICServ)」

- 年1回開催（2日間、発表件数約80件、参加者約130人）
- 基調講演／口頭発表／Best Paper Awardの表彰

過去の受賞講演

- ICServ2013（2013年10月，東京，産業技術総合研究所，台場）
Modeling the Dynamics of Service: the Creation of Customer Value (Best Paper award)
Improving Service Processes based on Visualization of Human-behavior and POS data: a Case Study in a Japanese Restaurant (Best Paper Award)
- ICServ2014（2014年9月，東京，慶應義塾大学，日吉）
Exploratory Analysis on Factors of Patient Satisfaction in HCAHPS Databases (Best Paper Award)
Improvement of Sharing of observations and awareness in nursing by voice tweets (Best Paper Award)
Kizashi Method – Grasping the change of future user's values – (Best Practitioner Award)
- ICServ2015（2015年7月，USA，San Jose Marriott Hotel，San Jose）
Methodological reference model for PSS development (Best Paper Award)
A Service Innovation for reducing Food Adulteration problem in Bangladesh (Best Paper Award)
Qualitative Simulation for Early-Stage Service Design (Best Practitioner Award)



研修・セミナー

サービスに携わる実務者（サービス業、サービス化を進める製造業、新規サービスの開発など）を対象に、新しい手法や技術の動向について学べる研修・セミナーを企画します。サービス工学、マーケティング、マネジメントについて体系的に講習する一般研修の他、より実践的な手法や技術を習得するためのスキルアップ講習、ワークショップ形式による公開型の研修・セミナーなど、専門家を講師に迎えて実施いたします。



その他の活動

■ グランドチャレンジワークショップ

グランドチャレンジワークショップでは、新たな学問領域としてのサービス学が、挑戦すべき、かつ、解くことが難しい大きな課題（グランドチャレンジ）について議論を行います。

過去のテーマ例

■ 第1回グランドチャレンジWS(函館)

サービスにおける領域(システム)を連成する方法論/福祉・地域コミュニティ活性化のためのサービス活動関係図の記述・定量的な評価/サービスの有機的連携のためのシステム/サービスのデザイナー(または設計者)は誰か/製造業のサービス化を目指して

■ 第2回グランドチャレンジWS(金沢)

サービス開発方法論/主客一体で進める共創/サービス価値推移におけるサービス・サステナビリティの視点~サービス持続可能性研究を目指して~/サービス学ロードマップの更新と体系化/自動車部品製造業のサービス化の課題/PSSコンサルタントからの「製造業サービス化」研究への要望/製造業のサービス化に必要な営業知識

■ SIG活動

SIG (Special Interest Group) は、サービス学会員が特定の興味を持つ分野についてグループを作り、研究状況や実施事例などの情報交換を行う場です。

SIG活動の例

Service Innovation and Design/サービスデザインに関するシステムズアプローチ/製造業のサービス化/サービス学フレームとしてのサービス・ケイパビリティ

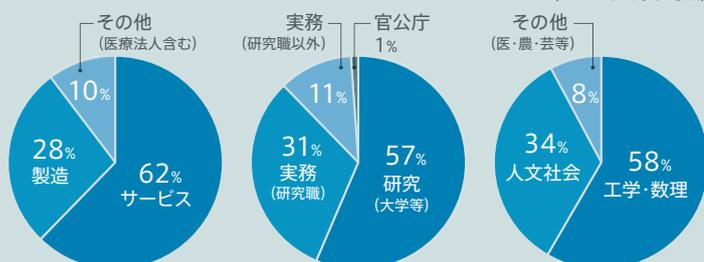


会員の構成と学会活動への期待

学会員の構成

サービス学会は、サービスに携わる誰しもが参画できるよう、学術と産業界、および人文社会系と工学数理系のバランスの取れた学会を目指します。

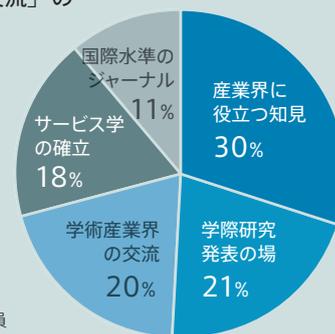
● 正会員数：366名、賛助会員数：6社、学生会員数：40名
(2014年3月末時点)



サービス学会員の構成

学会員の意識

学会員の多くは、サービス学会に対し、従来の学会が担ってきた学術的な役割だけでなく、「産業界に役立つ知見の発見と発表」および「学術産業界の交流」の役割を期待・意識しながら、活動に参画しています。



サービス学会に対する期待

※第1回国内大会アンケートのうち、会員を対象にAHP (Analytic Hierarchy Process) を行って集計

サービス学会の組織

役員

	役職	氏名	所属
理事	会長	新井 民夫	芝浦工業大学
	副会長	伊藤 元重	東京大学
		秋草 直之	富士通(株)
	総務	持丸 正明	産業技術総合研究所
		原 辰徳	東京大学
	財務	新村 猛	がんこフードサービス(株)／産業技術総合研究所／同志社大学
		貝原 俊也	神戸大学
	出版	戸谷 圭子	明治大学
		日高 一義	東京工業大学
		佐藤 忠彦	筑波大学
		太田 順	東京大学
	事業	本村 陽一	産業技術総合研究所
		田嶋 雅美	(株)フランチャイズアドバンテージ
		柴崎 辰彦	富士通(株)
		原 良憲	京都大学
	国際	澤谷 由里子	早稲田大学
		藤川 佳則	一橋大学
		中島 秀之	公立はこだて未来大学
		山内 裕	京都大学
	企画	谷崎 隆士	近畿大学
谷島 賢		イーグルバス(株)	
長岡 晴子		(株)日立製作所	
井上 崇通		明治大学	
監事	松波 晴人	大阪ガス(株)	
	上田 完次	東京大学／産業技術総合研究所	
	齋藤 敏一	(株)ルネサンス	
顧問	村上 輝康	産業戦略研究所	

※ 第2期役員会就任時の役職を記載

入会のお申込みと特典

お申込方法

本学会へ入会を希望される方は、サービス学会 Web サイト (<http://ja.serviceology.org>) の会員登録ページ (<http://ja.serviceology.org/application/>) からご登録ください。ご登録後に事務局から確認のメールが届きます。後日、理事会の承認をもって正式な会員としての登録が完了します。

会員種別	入会金	年会費	備考(定款より)
正会員	5,000円	10,000円	サービス学会の目的に賛同し、その活動に参加する個人
学生会員	5,000円	3,000円	大学生または大学院生もしくはそれに準ずる者であって、サービス学会の目的に賛同する個人
賛助会員	-	一口 50,000円 ※二口以上	サービス学会の目的に賛同し、その活動を援助する個人または団体

入会特典

【会員共通】

学会誌(年4巻)の配布
過去の国内大会の無料ダウンロード権
学会が主催する研修・セミナーへの参加割引

【賛助会員のみ】

国内大会(毎年開催)への無料参加(5名まで)
国際会議(毎年開催)への無料参加(2名まで)
学会誌・論文誌などの企業広告掲載の優遇

お問い合わせ

サービス学会 事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 工学部14号館1126号室
東京大学大学院 工学系研究科 精密工学専攻内
Tel:03-5841-7215 Fax:03-5841-8547 Email: sec@serviceology.org
Website <http://ja.serviceology.org/>
Facebook <http://www.facebook.com/SocietyForServiceology/>